



市内中小企業の実態調査（アンケート）結果

令和5年9月
川崎市環境局脱炭素戦略推進室

市内中小企業アンケート調査の概要

○アンケートの配布・回収数

- 配布数：1,500件（国税庁法人番号公表サイトのデータベースをもとに市内中小企業を無作為抽出）
- アンケート回収数：364件（郵送回収：254件、WEB回答：110件）
- 回収率：24.3%

○アンケートの設問項目

- アンケートの設問は、脱炭素化の推進状況、脱炭素化に向けた支援等を尋ねる内容とした。

<市内中小企業アンケート調査項目・内容>

項目	番号	設問内容	設問形式
事業案内	-	脱炭素経営支援に関する事業案内希望	選択
基本的事項	問1	会社名・法人番号・担当者名・連絡先	自由記入
	問2	業種	選択
	問3	事業所所在地（区）	選択
	問4	従業者数	選択
	問5	年間売上高	選択
	問6	業況	選択
	問7	経営相談相手	選択（自由記入あり）
脱炭素化の推進状況	問8	脱炭素化・脱炭素経営の取組状況	選択
	問9	実施目的	選択（自由記入あり）
	問10	課題	選択（自由記入あり）
	問11	取引先からの要請	選択
	問12	削減目標策定状況	選択
	問13	排出量・エネルギー使用量の把握状況	選択
	問14	取組内容	選択（自由記入あり）
市等による支援	問15	市や金融機関、支援機関に期待すること	選択（自由記入あり）
	問16	脱炭素経営コンソーシアムへの興味	選択

市内中小企業アンケート調査の結果概要

- アンケート調査の結果概要は、以下のとおりである（詳細は次頁以降に記載）。

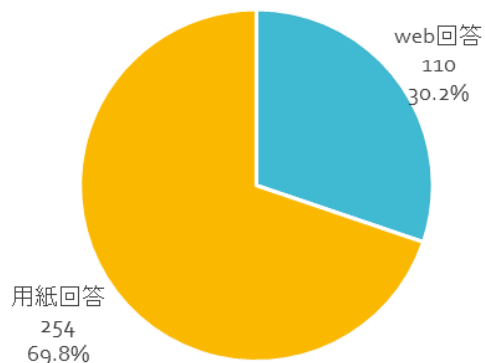
<市内中小企業アンケート調査の結果（概要）>

項目	設問内容	結果
脱炭素化の推進状況	脱炭素化・脱炭素経営の取組状況（問8）	<ul style="list-style-type: none"> 「取り組んでいる」(22.3%)、「必要性を感じているが、取り組めていない」(39.8%)
	実施目的（問9）	<ul style="list-style-type: none"> 回答が多いのは「エネルギーコスト削減のため」(65.6%)、「CSR・SDGs対応の一環として」(55.3%)
	課題（問10）	<ul style="list-style-type: none"> 回答が多いのは「売上の確保など他に優先事項があり、取り組む余裕がない」(35.5%)、「どう取り組めばいいのかわからない」(30.5%)
	取引先からの要請（問11）	<ul style="list-style-type: none"> 「要請がある」(7.6%)、「今後要請がありそう」(16.4%)
	削減目標の策定状況（問12）	<ul style="list-style-type: none"> 「策定している」(10.3%)、「策定していない」(75.2%)
	排出量・エネルギー使用量の把握状況（問13）	<ul style="list-style-type: none"> 「把握している」(9.2%)、「把握したいと思っている」(23.7%)
	取組内容（問14）	<ul style="list-style-type: none"> 回答が多い順に「省エネ機器の導入」(60.3%)、「電気自動車・燃料電池自動車の導入」(39.3%)、「太陽光発電設備の設置」(25.6%)
市等の支援	市や金融機関、支援機関に期待すること（問15）	<ul style="list-style-type: none"> 回答が多いのは「事業者役に役立つ情報の提供」(68.7%)、「補助制度の継続・充実」(50.0%)
	コンソーシアムへの興味（問16）	<ul style="list-style-type: none"> 「興味がある」(45.0%)、「興味がない」(47.3%)

市内中小企業アンケート調査結果①

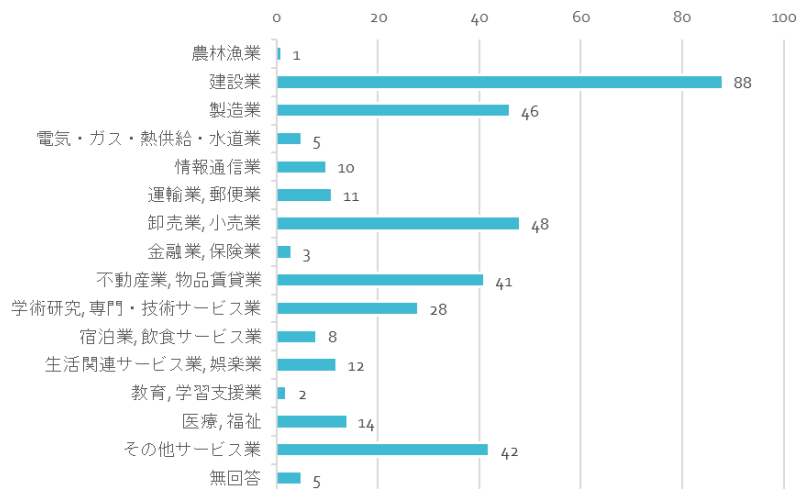
○回答方法

アンケート回答方法はWEB回答が30.2%、郵送回答が69.8%。
回答方法 (N=364)



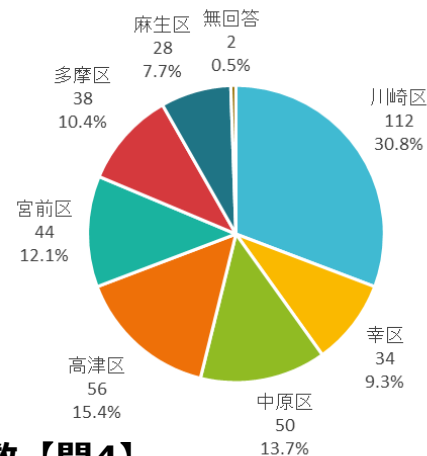
○業種業況【問2】

回答した企業の業種の内訳は、以下のとおり。
問2 業種 (N=364)



○事業所所在地【問3】

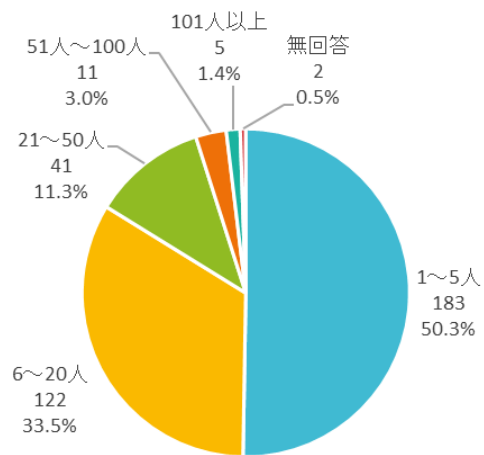
主な事業所所在地は、以下のとおり。
問3 所在地 (N=364)



○従業員数【問4】

従業員数は以下のとおりで、小規模事業者が多い。

問4 従業員数 (N=364)

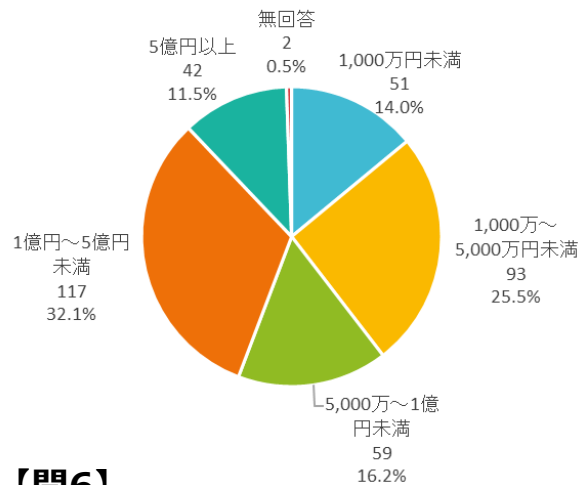


市内中小企業アンケート調査結果②

○年間売上高【問5】

年間売上高は、以下のとおり。

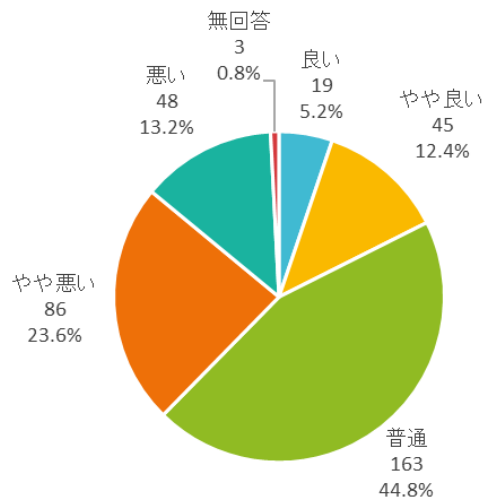
問5 年間売上高 (N=364)



○業況【問6】

業況は以下のとおり。

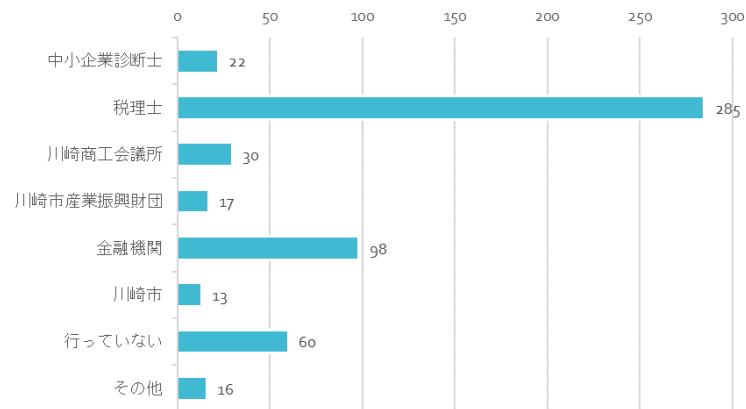
問6 業況 (N=364)



○経営相談相手【問7】 (複数回答)

経営相談相手は以下のとおりで、税理士が多い。

問7 経営相談を行っている組織 (N=364)

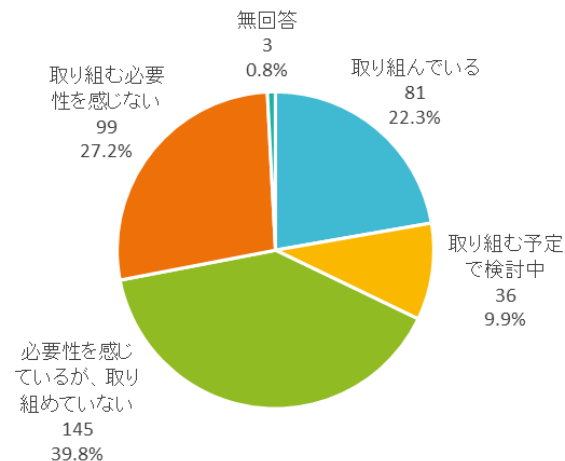


○脱炭素化・脱炭素経営の取組状況【問8】

「必要性を感じているが、取り組めていない」が39.8%と最も多い。

問8 脱炭素化・脱炭素経営について

(N=364)

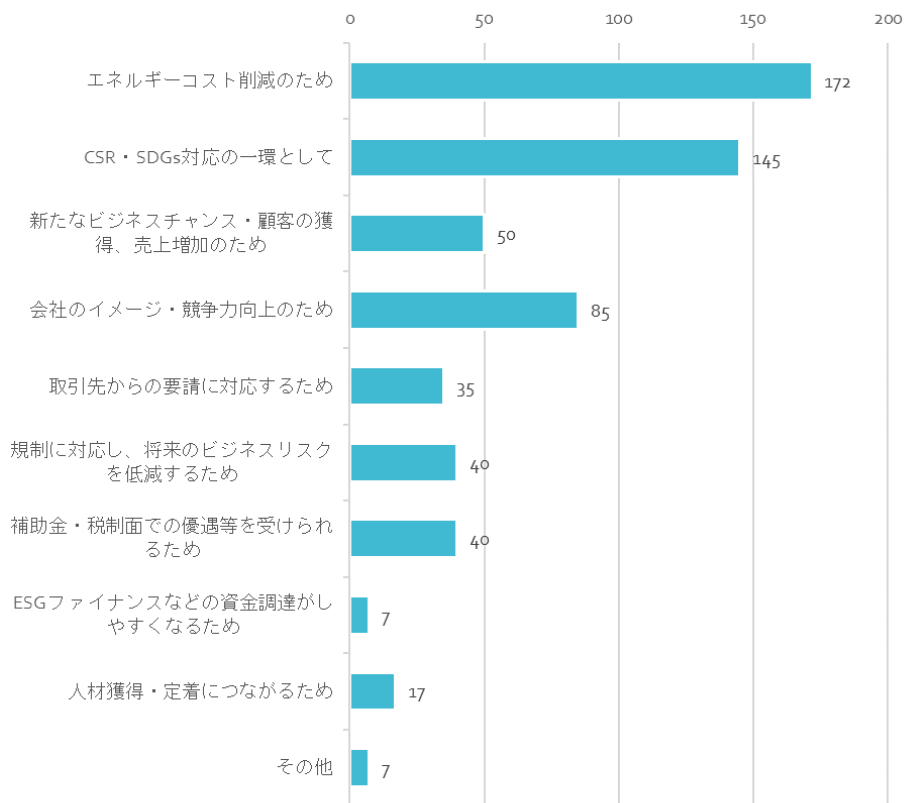


市内中小企業アンケート調査結果③

○実施目的【問9】（複数回答）

脱炭素化・脱炭素経営に取り組む必要性を感じている事業者のうち、回答が多いのは「エネルギーコスト削減のため」（65.6%）、「CSR・SDGs対応の一環として」（55.3%）の順に回答が多い。

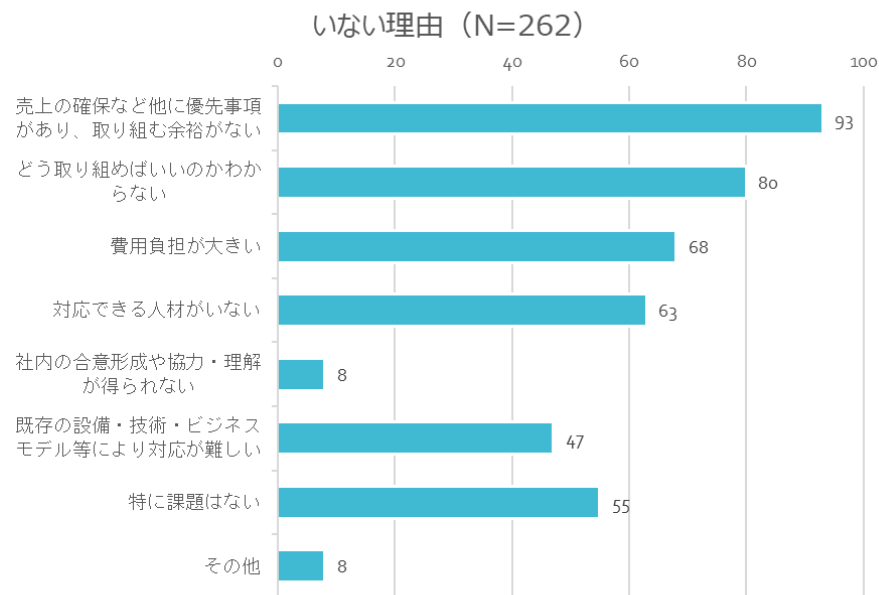
問9 脱炭素化の取組を実施する目的・動機（N=262）



○課題【問10】（複数回答）

脱炭素化・脱炭素経営に取り組む必要性を感じている事業者のうち、回答が多いのは「取り組む余裕がない」（35.5%）、「どう取り組めばいいのかわからない」（30.5%）の順に回答が多い。

問10 脱炭素化の取組を実施する上での課題・取り組めて

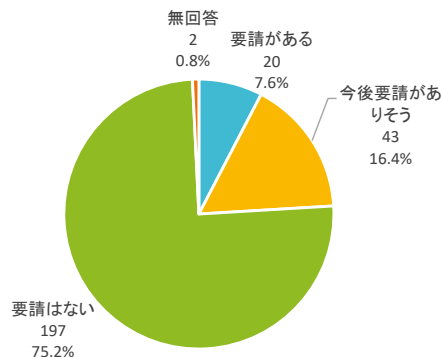


市内中小企業アンケート調査結果④

○取引先からの要請【問11】

脱炭素化・脱炭素経営に取り組む必要性を感じている事業者のうち、取引先から「要請がある」、「今後要請がありそう」の合計で全体の24.0%。

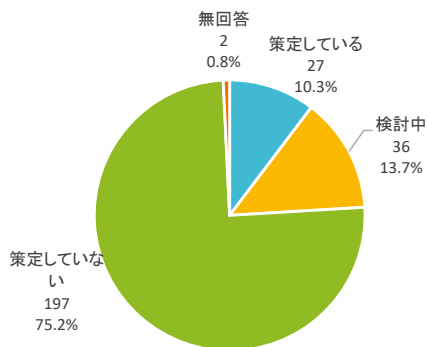
問11 脱炭素化の取組について取引先からの要請 (N=262)



○削減目標策定状況【問12】

削減目標の策定について「策定している」、「検討中」の合計で全体の24.0%。

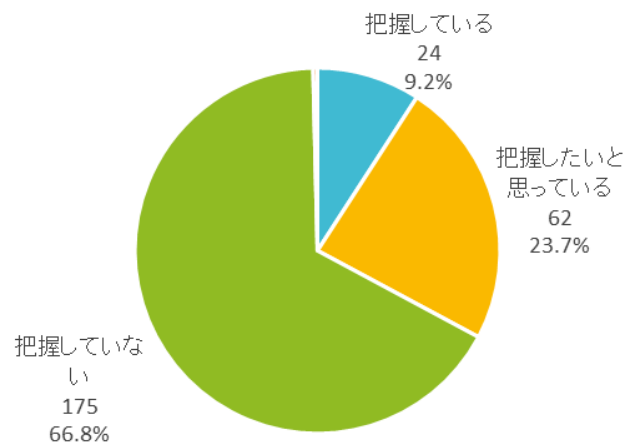
問12 温室効果ガス排出削減に向けた目標等の策定 (N=262)



○排出量・エネルギー使用量把握状況【問13】

排出量・エネルギー使用量について「把握している」、「把握したいと思っている」の合計で全体の32.9%となっている。

問13 毎年の温室効果ガス排出量・エネルギー使用量の把握 (N=262)

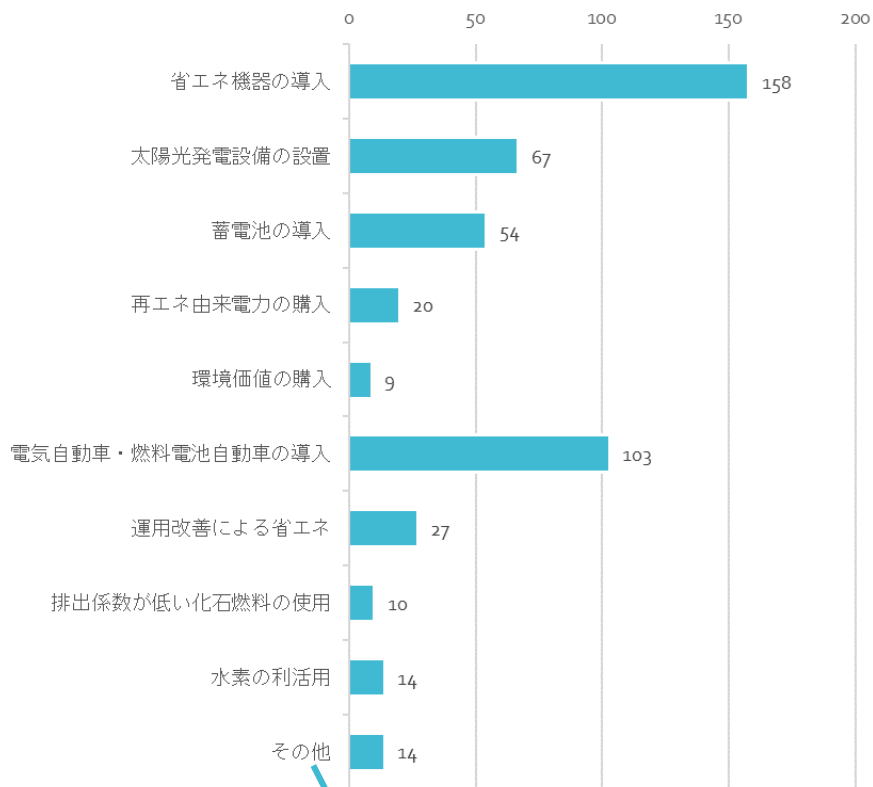


市内中小企業アンケート調査結果⑤

○取組内容【問14】（複数回答）

脱炭素化・脱炭素経営に取り組む必要性を感じている事業者のうち、回答が多い脱炭素化につながる取組み内容は、「省エネ機器の導入」（60.3%）、「電気自動車・燃料電池自動車の導入」（39.3%）、「太陽光発電設備の設置」（25.6%）となっている。

問14 脱炭素化につながる取組について、実施しているもの、検討中のもの、または関心があるもの（N=262）



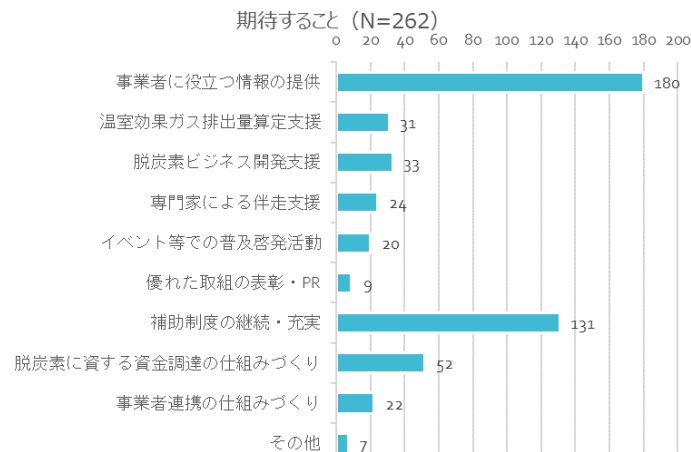
<その他の主な回答内容>

- ・ 低炭素製品の開発
- ・ 廃棄物削減 等

○市や金融機関、支援機関への期待【問15】（複数回答）

市や金融機関、支援機関への期待として回答が多いのは「事業者に役立つ情報の提供」（68.7%）、「補助制度の継続・充実」（50.0%）となっている。

問15 脱炭素化の取組を進める上で、市や金融機関、支援機関に

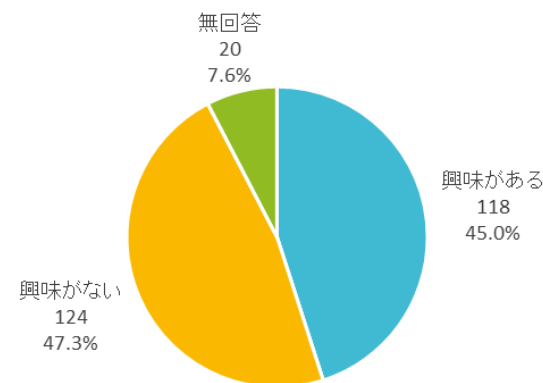


○脱炭素経営コンソーシアムへの興味【問16】

「興味がある」と回答した事業者は45.0%である。

問16 川崎市における脱炭素化支援サービス

への興味（N=262）



市内中小企業アンケートクロス集計の結果概要

- アンケート調査結果を業種別に把握するため、①建設業、②製造業、③卸売業・小売業、④不動産業・物品賃貸業、⑤サービス業、⑥その他に区分けし、脱炭素化・脱炭素経営の取組状況、取引先からの要請、削減目標の策定状況、排出量・エネルギー使用量の把握状況について調査結果を分析した。
- 結果の概略は、以下のとおりである。

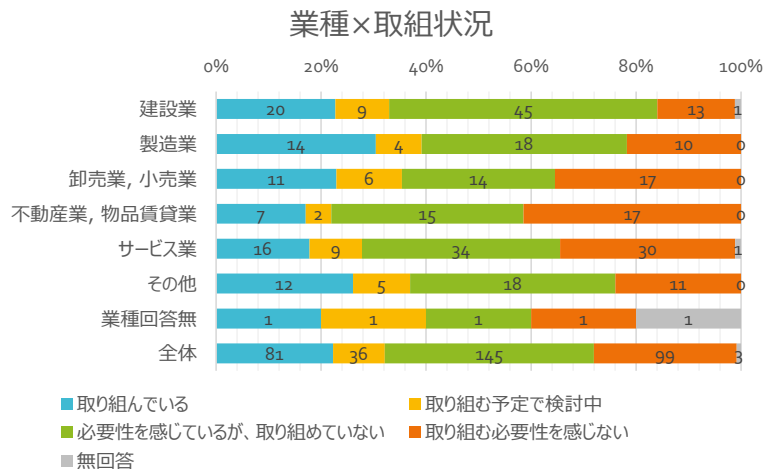
<クロス集計結果（概略）>

設問内容	結果
脱炭素化・脱炭素経営の取組状況（問8）	「取り組んでいる」の回答割合が最も高いのは製造業となっている。
取引先からの要請（問11）	「要請がある」の回答割合が最も高いのは製造業である。製造業は「要請がある」に「今後要請がありそう」を加えた合計の回答割合も最も高くなっている。
削減目標の策定状況（問12）	削減目標について「策定している」の回答割合が最も高いのは建設業である。
排出量・エネルギー使用量の把握状況（問13）	排出量・エネルギー使用量について「把握している」の回答割合が最も高いのは製造業である。製造業は「把握している」に「把握したいと思っている」を加えた合計の回答割合も最も高くなっている。

市内中小企業アンケート クロス集計結果（業種別）

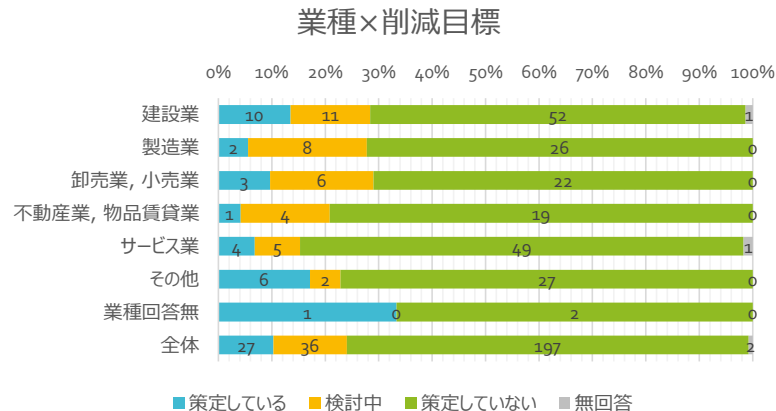
○脱炭素化・脱炭素経営の取組状況（問8）

「取り組んでいる」の回答割合が最も高いのは製造業である。



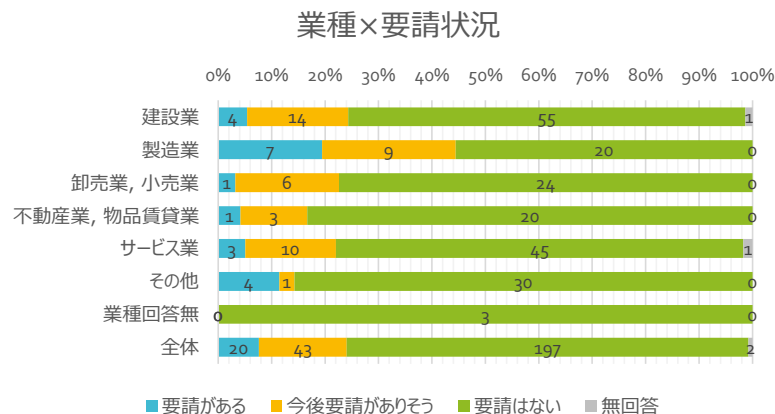
○削減目標策定状況（問12）

削減目標を「策定している」の回答割合が最も高いのは建設業（その他と業種回答無を除く）。



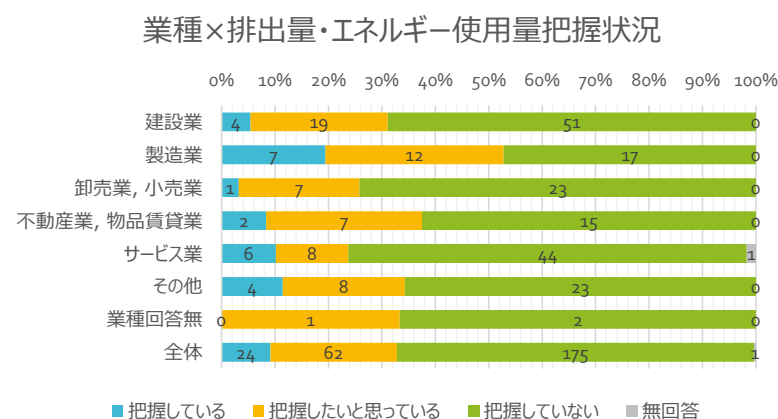
○取引先からの要請（問11）

「要請がある」の回答割合が最も高いのは製造業である。



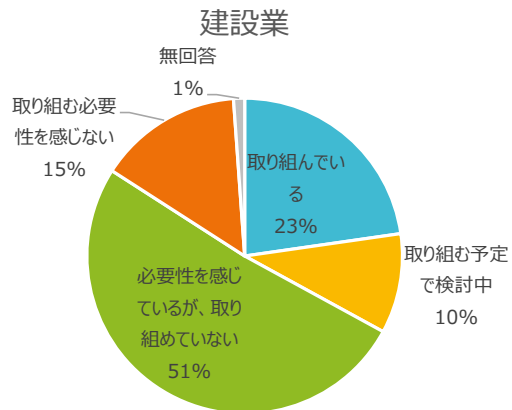
○排出量・エネルギー使用量把握状況（問13）

「把握している」の回答割合が最も高いのは製造業である。

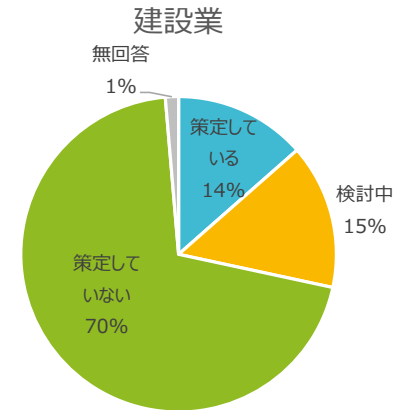


【参考】アンケート結果（建設業）

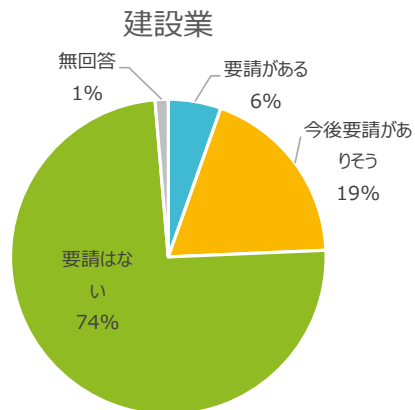
○脱炭素化・脱炭素経営の取組状況（問8）



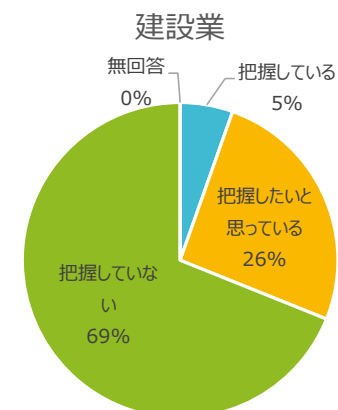
○削減目標策定状況（問12）



○取引先からの要請（問11）

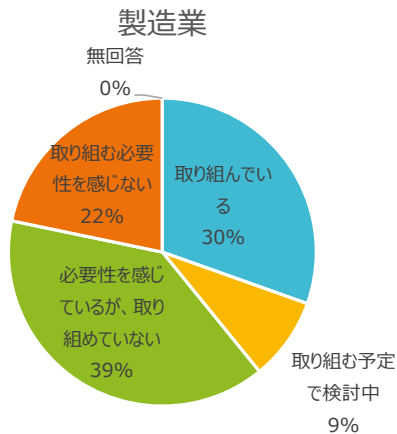


○排出量・エネルギー使用量把握状況（問13）

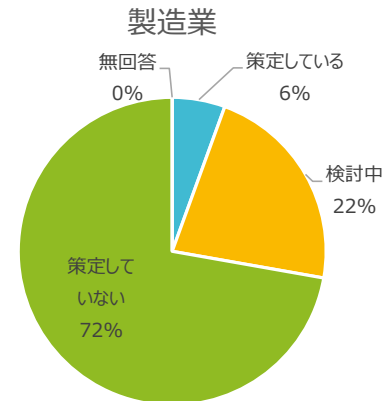


【参考】アンケート結果（製造業）

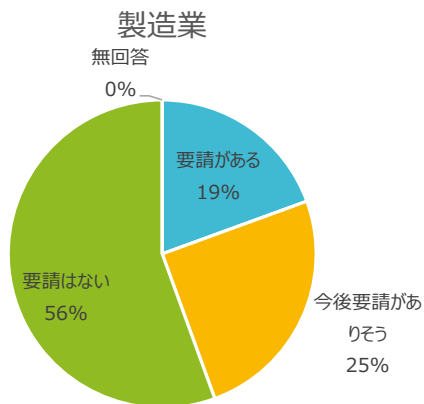
○脱炭素化・脱炭素経営の取組状況（問8）



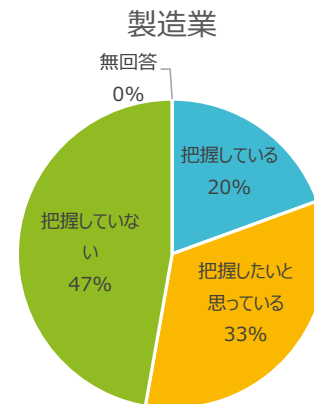
○削減目標策定状況（問12）



○取引先からの要請（問11）

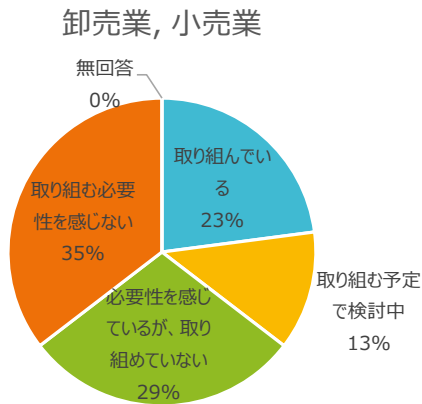


○排出量・エネルギー使用量把握状況（問13）

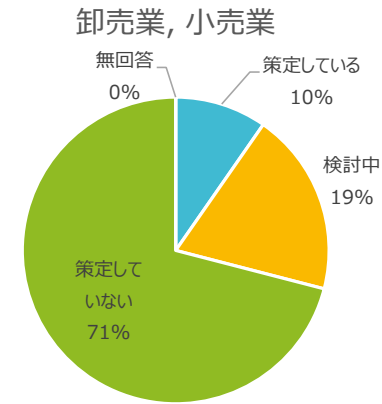


【参考】アンケート結果（卸売業・小売業）

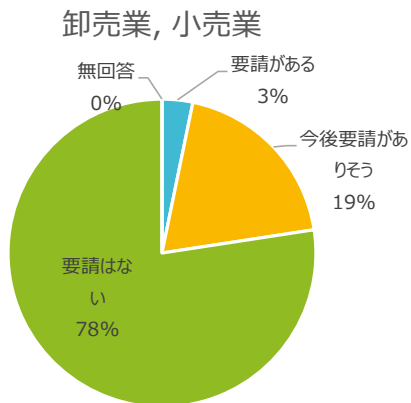
○脱炭素化・脱炭素経営の取組状況（問8）



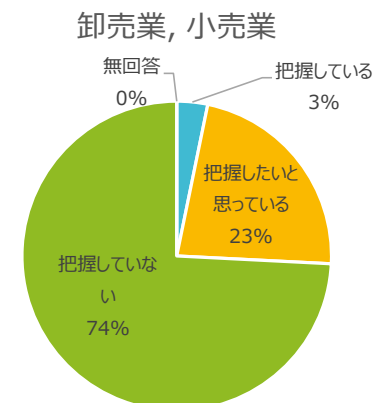
○削減目標策定状況（問12）



○取引先からの要請（問11）

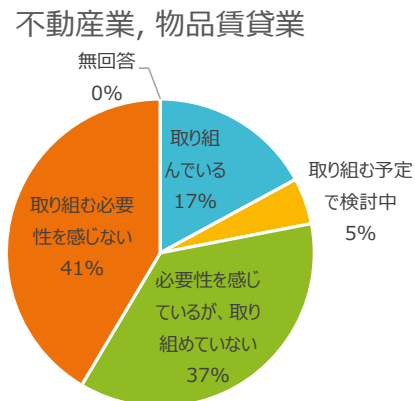


○排出量・エネルギー使用量把握状況（問13）

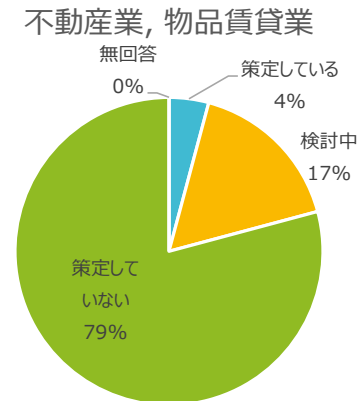


【参考】アンケート結果（不動産業・物品賃貸業）

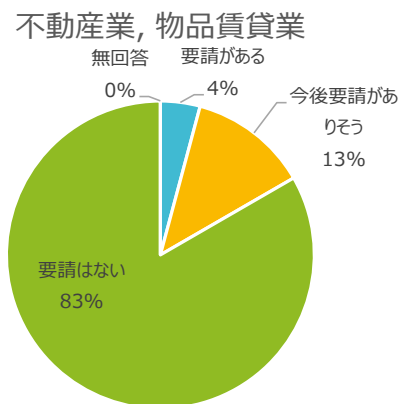
○脱炭素化・脱炭素経営の取組状況（問8）



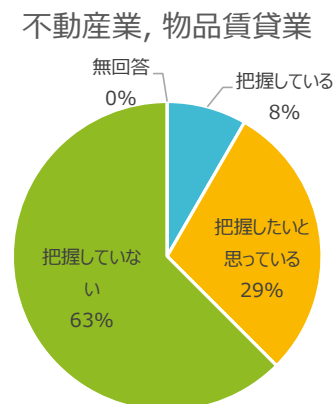
○削減目標策定状況（問12）



○取引先からの要請（問11）

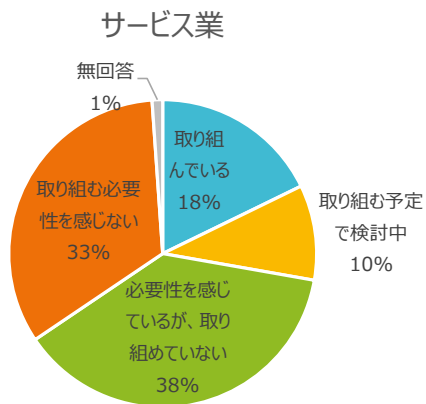


○排出量・エネルギー使用量把握状況（問13）

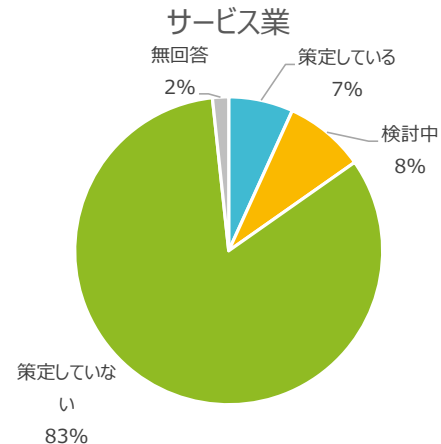


【参考】 アンケート結果（サービス業）

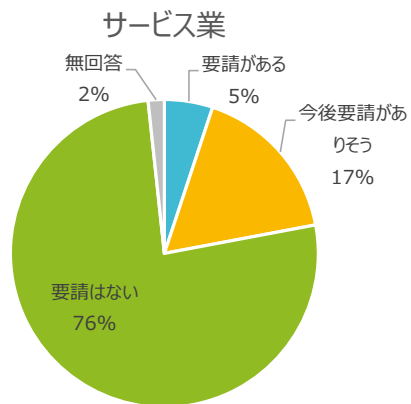
○脱炭素化・脱炭素経営の取組状況（問8）



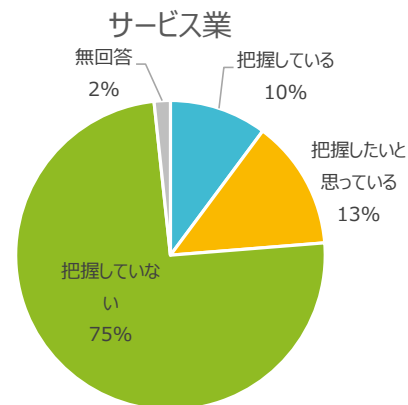
○削減目標策定状況（問12）



○取引先からの要請（問11）



○排出量・エネルギー使用量把握状況（問13）

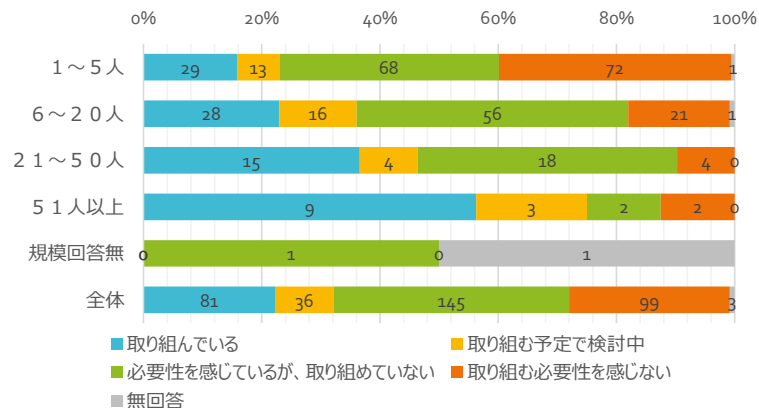


市内中小企業アンケート クロス集計結果（企業規模別、従業員数）

○脱炭素化・脱炭素経営の取組状況（問8）

「取り組んでいる」の回答割合は、従業員数が多い企業ほど高い（規模回答無を除く）。

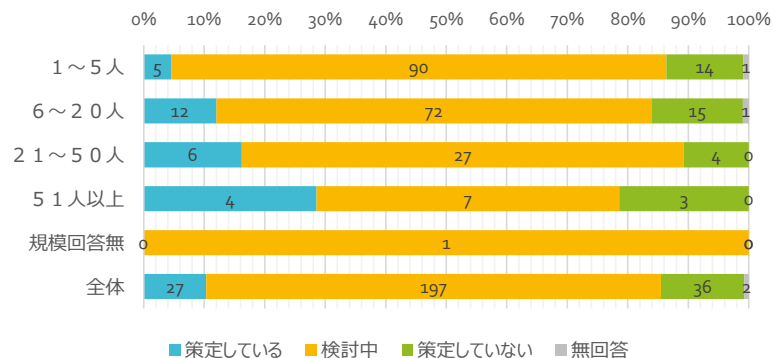
従業員数×取組状況



○削減目標策定状況（問12）

削減目標を「策定している」の回答割合は、従業員数が多い企業ほど高くなっている。

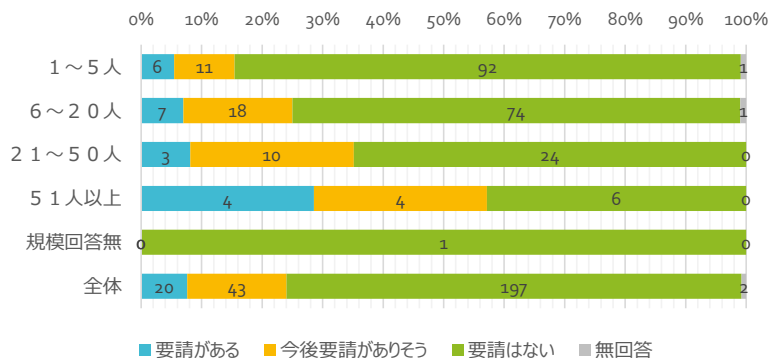
従業員数×削減目標



○取引先からの要請（問11）

「要請がある」の回答割合は、従業員数が多い企業ほど高くなる傾向にある。

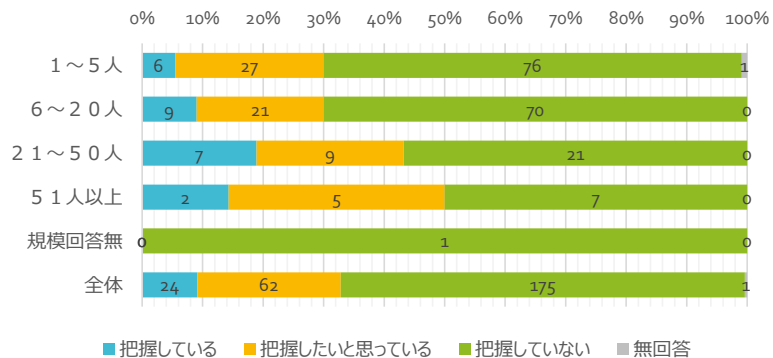
従業員数×要請状況



○排出量・エネルギー使用量把握状況（問13）

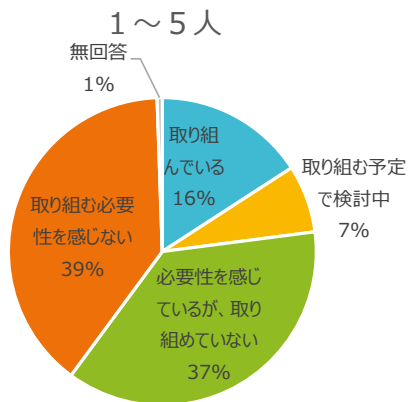
「把握している」の回答割合は、従業員数が「21～50人」の規模の企業が最も高くなっている

従業員数×排出量・エネルギー使用量把握状況

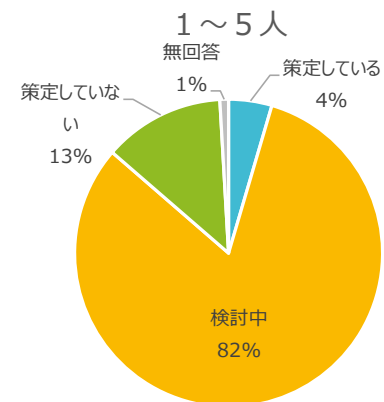


【参考】アンケート結果（企業規模別 従業員数：1～5人）

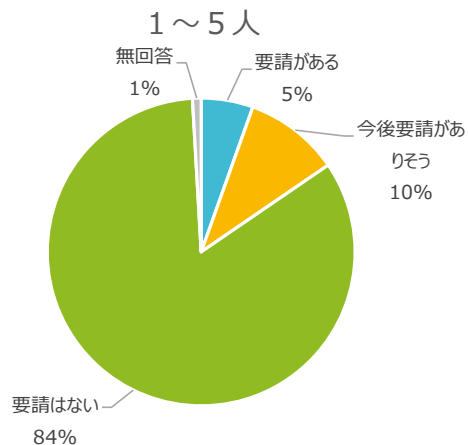
○脱炭素化・脱炭素経営の取組状況（問8）



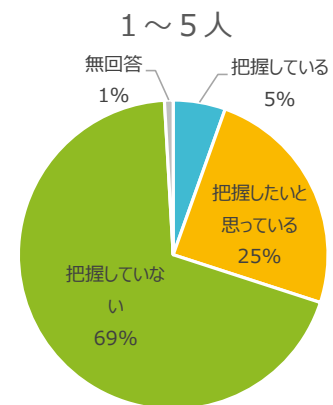
○削減目標策定状況（問12）



○取引先からの要請（問11）

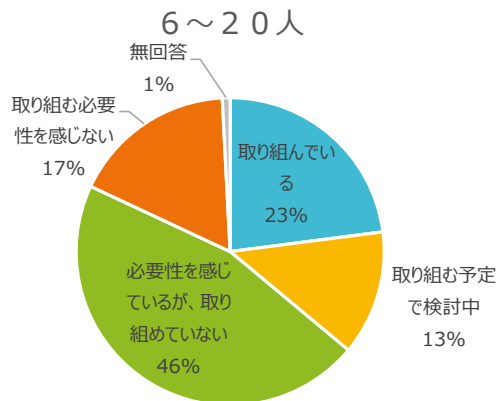


○排出量・エネルギー使用量把握状況（問13）

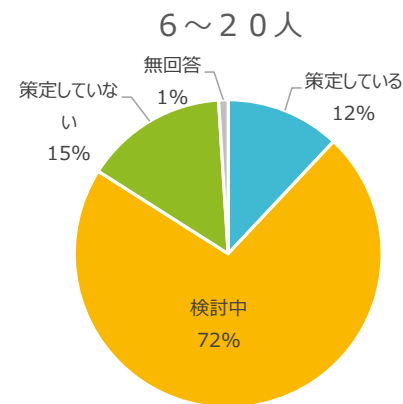


【参考】 アンケート結果（企業規模別 従業員数：6～20人）

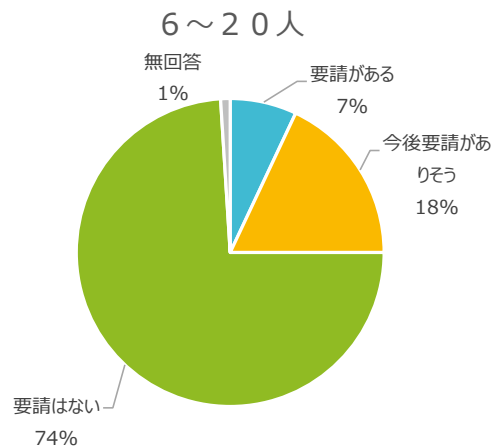
○脱炭素化・脱炭素経営の取組状況（問8）



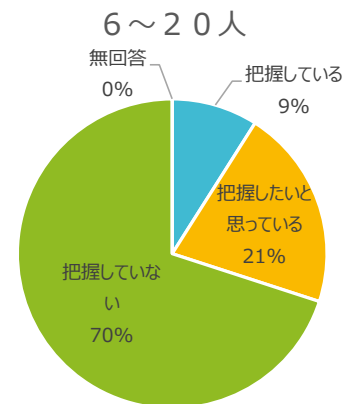
○削減目標策定状況（問12）



○取引先からの要請（問11）

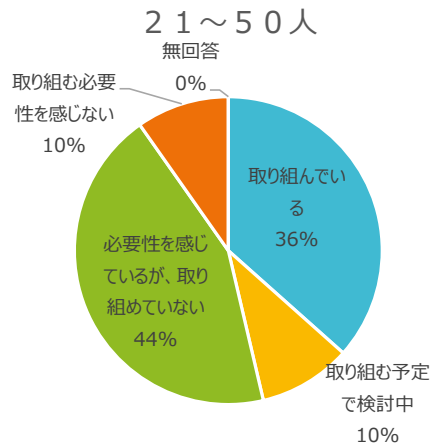


○排出量・エネルギー使用量把握状況（問13）

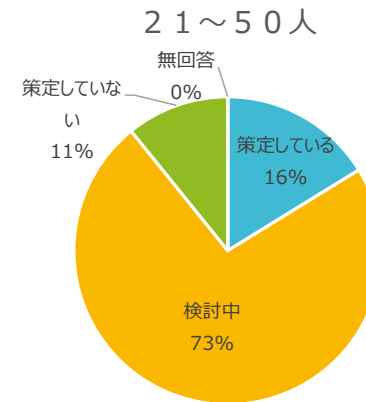


【参考】アンケート結果（企業規模別 従業員数：21～50人）

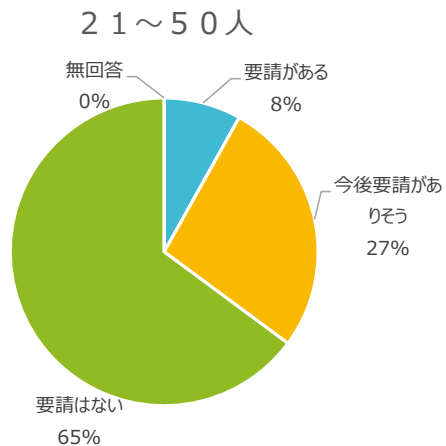
○脱炭素化・脱炭素経営の取組状況（問8）



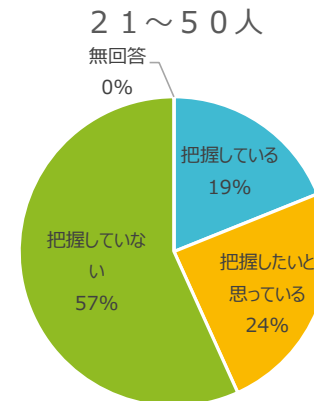
○削減目標策定状況（問12）



○取引先からの要請（問11）

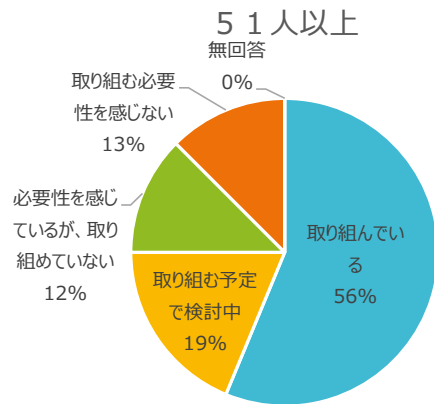


○排出量・エネルギー使用量把握状況（問13）

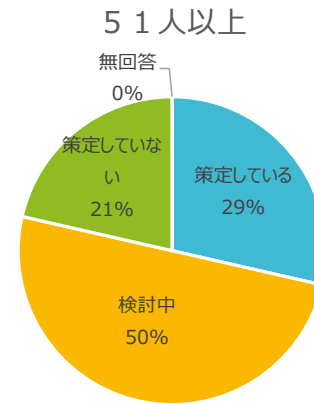


【参考】アンケート結果（企業規模別 従業員数：51人～）

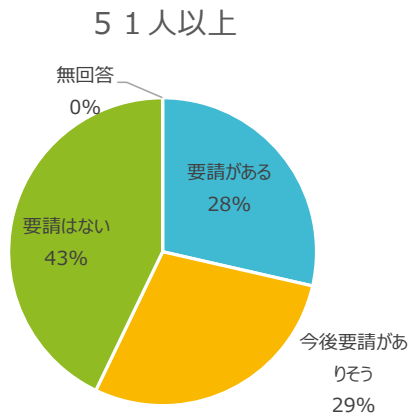
○脱炭素化・脱炭素経営の取組状況（問8）



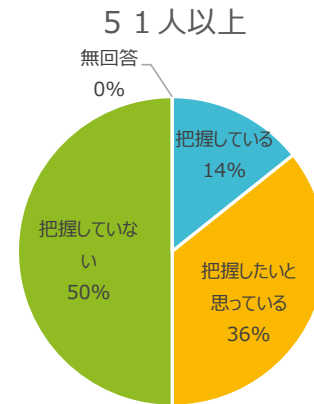
○削減目標策定状況（問12）



○取引先からの要請（問11）

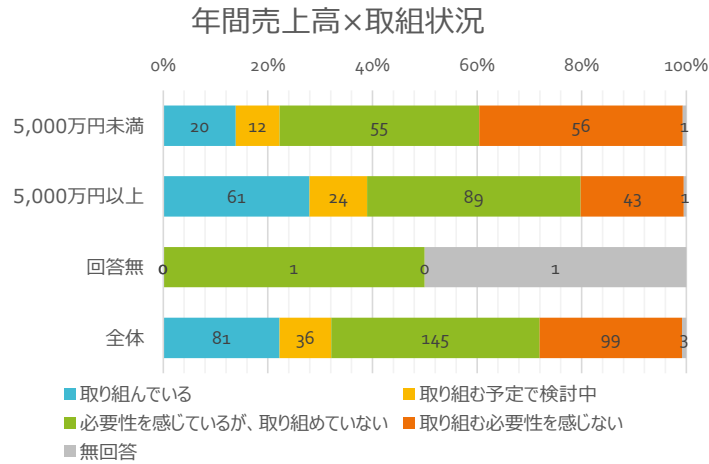


○排出量・エネルギー使用量把握状況（問13）

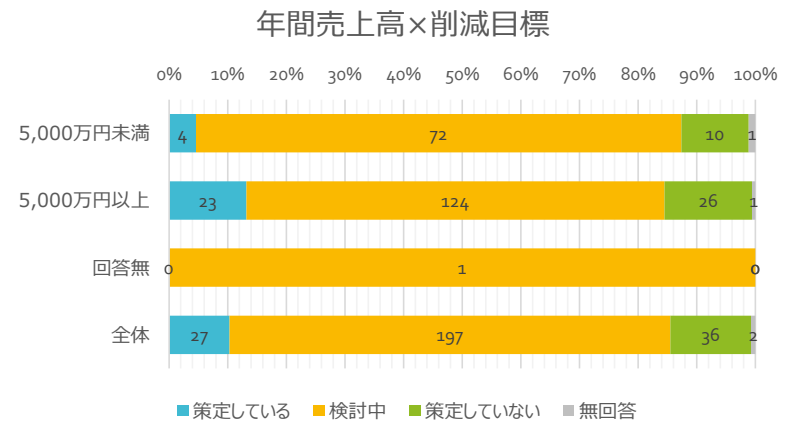


【参考】クロス集計結果（企業規模別 年間売上高）

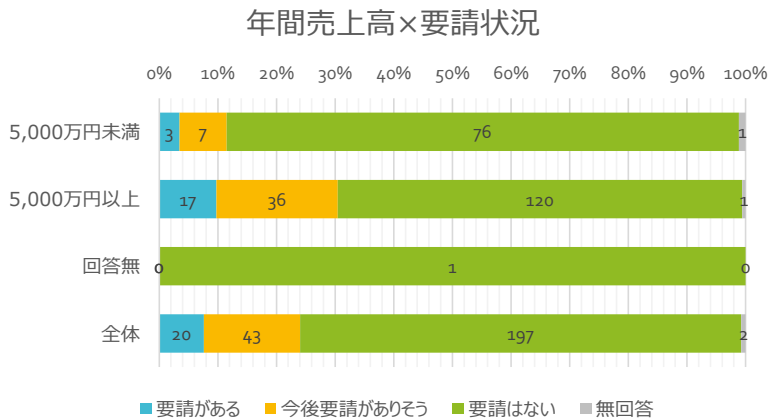
○脱炭素化・脱炭素経営の取組状況（問8）



○削減目標策定状況（問12）



○取引先からの要請（問11）



○排出量・エネルギー使用量把握状況（問13）

